



特定非営利活動法人
平成 31 年 春号 NO.62



<http://nepal-mika.jp>

ネパール・ミカの会

平成 31 年 4 月 20 日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 tel042-791-0602



「出会いを楽しむ」

理事長 齋藤 謹也

第 21 次 ネパール教育支援の旅の概要

2019.02.15-02.24

2 月 17 日 (日)

◎マズワニ小中高校訪問 MMR 視察。教材寄贈、ジュース・クッキーのプレゼント。



◎マヤデビー小学校訪問 幼児教室の視察、校舎建設の要望を聞く。ジュース・クッキーのプレゼント。帰路、マヤデビー小学校近隣のイスラム学校の生徒にジュース・クッキーのプレゼント。



◎午後 2 時より笠井ホテルにて理事長・校長と懇談会。11 学校出席。布袋、テニスボール、鉛筆を各学校にプレゼント。出席の先生方には 4 色のボールペン。全学校の意見要望を聞く。またミカの会からも管理などに関して要望する。



いよいよ平成時代が終わり、5 月より「令和」の時代に入ります。

今年のネパール・ミカの会は令和元年の最初の月に総会を迎えます。気淑く風和ぎと言いますが、災害のない年月、戦いのない年月となるように願います。

ミカの会のネパール支援に、小なりといえども、一定の役割を果たしたように秘かに胸を張りましょう。あの、真っ直ぐにも並べず、フラフラした状況からしっかりとした「学校らしく」なってきた事が、校舎建設だけでなく嬉しいですね。

さあ、令和どう過ごすか？同時に高齢化に入った私たちの活動もどうあるべきか考えて行きましょう。

樹木希林さんが言っていた「楽しむのではなく、面白い事よ」とか「どんな素材でもそれが光る場所に置いて活かしたい」も良いですね。

背骨が伸びた一生を過ごしましょう。たまたまの「出会い」を楽しんでいきましょう。



「ネパール教育支援の旅に参加して」

植草 光子

2月18(日)

◎シリ・アマリ小学校訪問 現在2教室の増築中。他に2教室の要請あり。ジュース・クッキーのプレゼント。
現在、教室増築中であるが、それでも不足するために会として、以前建設した教室の二階部分に増築することを決定いたしました



◎シリ・シリ・ラム訪問 助成金申請中のため敷地の確認、電源の確認。教室の状態をみる。国の援助で2階増築中。緑色の校舎がPCルームに予定されています。



◎ヤナトラハ学校訪問 校舎修繕の最終確認 屋根の雨漏りの工事が必要で予算がオーバーすることを確認。30万から50万に増額し、修復することを決定しました。



◎スンディー校訪問 時間が遅かったからか、残念ながら中に入る事ができず。懇談会の席上、雨漏り修繕要請あり。



2月21日(木)

◎バドマカニア女子校 訪問 教材などを寄贈する。寮も近く完成する予定だそうです。

◎遠路はるばるバイクで4時間かけて、ともこ学校より先生がカトマンズまでミカの会の会員に会いに来てくれました。テニスボールや布袋を寄贈。一緒に会食をしました。想像を絶する悪路を礼を尽くすために往復してくれたのは簡単にできることではないと思います。彼らの期待に背かぬよう頑張りましょう。

ネパールの旅は4回目ですが、ミカの会の支援の旅は今回で2回目です。昨年の強行軍と違って、今回はルンビニ中心の支援の旅だったので、のんびりゆっくり学校を訪問出来、また村の道を歩いて学校まで行ったりと、現地を感じながらの旅でした。

マズワニの新川MMRでは、最新式のコンピューターを楽しそうに操作をしている姿を見ると、希望や発展を感じましたが、教育制度が確立していない事や、講師の給料の問題などがあり、生徒の夢の実現や職業に繋げられる支援の必要性を感じました。

ヤナトラハ校は、コンピューターがアラブ共和国から寄贈され台数が増えていました。更に「化学の実験室が欲しい」と要求がありましたが、空いている部屋があり、ピーカーやフラスコ等が埃だらけで活用していないようでした。おねだり的な支援を脱却し、教育本来のビジョン、計画を立てられるよう、リーダーの育成が必要であるとも思いました。

理事長から、「ルンビニが発展し変わって来た事を考慮し、今後の支援に役立てたい。」と、学校の先生方とのミーティングを持ちました。各校の進捗状態や先生方の思いを知る事が出来、また支援する我々の思いも語り、交流する事が出来て良かったと思います。

上記に記したように支援の難しさを感じていましたが、アマリの女性校長から、今は小学校5年生まで。中学校は遠いので、女の子は通えず、早めに結婚したり、家事を手伝う為、学校を辞めてしまうので、8年生までの学校にしたいと言う明確な目標があり、私は心を打たれ、個人的には是非、アマリに3教室を建ててあげたいと思いました。

翌日学校を訪問したところ、パイワラのインド系の事業主の奥様達が学校を建て増していました。支援の輪が国内でも広がっている事に感動しました。これも、ミカの会が20年以上、多岐に渡って支援し続けた成果と思います。

22年前にネパールを訪れ、子供達の目の輝きを大切にしてくるミカの会。

“手から手へ”を合言葉に現地を訪問し、声を聞き、少しずつ支援して来たミカの会。私は入会して未だ、二年。50歳から始めた人も70代。今後、ミカの会をどう運営して行くか、発展しつつあるネパールをどう支援して行くかを考える旅になったと思います。



ともこ学校の先生とツーショット。右の写真はシリ・アマリ小学校です。最終日に体調崩して苦勞しましたが、帰国後すぐに仕事に復帰しました。皆さまにご迷惑、心配かけました。ありがとうございました。

「支援の旅と私」

ゴビンダ・マハルジャン

毎年、春の始めから花粉の時期が始まります。花粉症を抱えている方々は良くご存知だと思いますが、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、耳や目、皮膚のかゆみ、そして睡眠不足になるなど。自分としてはどうしても東京から離れたい。会社に休みを申請してどこかに行きたい。

この時期に開催されるネパールミカの会の支援の旅。そんな私の思いを叶えてくれ、しかも半分は仕事という大義名分もたち、ミカの会の皆様とは7年前から旅のプランナーとして企画、航空券やホテル手配、ビザ取得などをお手伝いしています。

ネパールでの支援活動の前、あるいは途中の国で観光や宿泊に添乗員として、これまで2012年に仏遺跡を巡るインド・ネパール11日間、2016年にスリランカ・ネパール10日間、2017年にタイ・ブータン・ネパール12日間、2018年にシンガポール・ネパール10日間そして今年はネパール・マレーシア10日間を同行しました。現地ではラマ理事にバトンタッチし、自分はフリーになりますが、皆様がカトマンズにいるときには何らかの形でお手伝いできるようにと思っています。

今回の旅では結婚して日本で暮らすようになってから大変お世話になった佐藤さんご夫妻を案内することができて本当に嬉しかったです。カトマンズ以外にアンナプルナ展望の町、ポカラやその周辺に案内し、3日間のんびりすごすことが出来ました。

天気にも恵まれ、アンナプルナ山脈やネパールの国花である石楠花も見ることができたので、佐藤さんご夫妻も喜んでくれました。チトワン国立公園で皆様と合流し、1泊2日のジャングルサファリ体験も私としては5年ぶりの参加となりました。ルンビニでの支援の旅を終え、チトワンで多少のんびりできたでしょうか。カトマンズに戻りネパール・ミカの会で出店するときの為に現地で雑貨を購入するときにも少しですがサポートできて良かったです。

支援の旅の第一の目的はボランティア活動ですが、現地の方々との交流、食事会、観光などをして心も体もリフレッシュし、現地の人々からパワーを分けてもらえるのではないかと思います。ボランティア活動以外にもそういった時間も大切だと思います。

旅が好きな方々や積極的にボランティア活動をされている皆様と一緒に支援の旅にできるのはこれから少なくなるとは思いますが、できれば年に1回は続けてほしいと思います。

皆様の努力で22年も続いているミカの会・ネパール教育支援の旅ではありますが、なんでも楽しくないと続かないと思います。今後もネパールの皆さんとも仲良く、楽しくしながら末永く続いてほしいと思います。

今後もミカの会の皆様と一緒に楽しい旅にも出たいし積極的にボランティア活動も続けたいと思いますので引き続き宜しくお願いします。



「支援の旅の計画の留意点」

加藤 誠一

この数年、ネパール教育支援の旅の企画に携わってきました。留意してきた点は参加する会員の固定化、そして高齢化による体調不良。

支援の旅は全額自費で、約10日間が必要となりますので、あまり強い勧誘はしにくい状況です。ネパール以外の国にも行ってみたいと思う方も当然の事だと思います。いくつかの難題を超えてネパールに行きたいと思う会員もおります。

そこで数年前からネパール往復のどちらかでネパール以外の国も訪問しようという事になりました。過去にはインド・スリランカ・ブータン・タイ・シンガポールに立ち寄り観光してまいりました。経由地での入国は費用が少なくて済む。

今まで、ミカの会ではバンコク経由・香港経由・シンガポール経由、そして今回のマレーシア経由を経験しました。他にも仁川経由がありますね。

現在、関西空港からのカトマンズ直行便も計画されています。残念ながら計画が遅れが出ているようです。22年前のロイヤルネパール航空の直行便に搭乗したことを思い出します。安全面などでしっかり運行して欲しいですね。

特に重要なのは、高齢化のためか現地で体調不良を訴える会員が以前よりも増しているという現実があります。

移動に伴う疲労、慣れない食事・水、快適とは言えないホテルなど理由はいくつかあると思います。

そこで企画時に留意しているのが・・・。

車での悪路移動を最小限にする。睡眠不足にならないように飛行機は深夜便を避ける。ホテルも必要最小限の快適さは必要。極端な早朝、深夜の移動は避けること。などなど。

今回の第21次支援の旅を例にすれば航空機は基本朝昼便。車の移動はエアコン付き。ルンビニの宿泊はバスタブ、ウォッシュレット、新鮮で美味しい食事の笠井ホテルに3泊。

ルンビニでの学校訪問を校長・理事長懇談会を開催して訪問できない学校をカバーする。大変残念でしたがタンセン訪問を移動の疲労の日程の長期化を考え計画から外しました。

ネパール国内の観光や異なる目的の移動のためにいくつかのグループに分かれて行動するのも効率がいいですね。

初めてネパールを訪問する方にはお勧めの観光スポットが沢山ありますので行って欲しいですから。

実際に体験してみて、色々な意見が有ろうかと思いますが、多少の例外を除いて極度の疲労は無かったかと思われる。

学校を訪問するのは、とても楽しいし、嬉しいです。子供たちとは言葉の壁があって直接話せませんが、嬉しいことに目と動作で話せますね。どこの学校に行っても時間が経つのが早くて、後ろ髪を引かれる思いで学校を出ます。

卒業生に出会うのも特別嬉しいです。継続してよかったなあとと思う瞬間です。そうです活動が始まった時には生まれていなかった子供達です。

個人的にはチトワン訪問は20年以上前になります。なんにも無かった自然公園の側に沢山のホテルやお店が出来ていたのには驚きました。エレファント・サファリやリバークルーズは大満足でした。

カトマンズに戻り、ネパールの仲間と会食、民芸品の買い物も結構楽しかった。入国時の風邪も完治し体調も万全、スリジャナさんの見送りを受けて深夜便でマレーシアに向かいます。機内では食事もせずに爆睡。

帰路の観光は今回が初めて、さあ、クワラルンプールを楽しむぞ。

支援の旅の実施にあたり現地ではラマ理事、モティさん、ラムネンさん、スリジャナさん、そして企画からゴビンダさんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

「ネパール教育支援旅行に参加して」

佐藤 レイ子

この度は、ミカの会の会員の皆様、現地で旅をサポートしていただいた方々、大変お世話になりました。ありがとうございました。

ネパールと言えば、ヒマラヤ・エベレスト・首都がカトマンズ・ピンクの塩・象に乗れる場所がある・アンモナイトがとれる・三浦雄一郎さん 80 才でエベレスト登頂に成功。以上のようなキーワードしか知らなかったのですが、今回ミカの会の支援の旅に同行させて頂き、奥深いネパールを少しでも知る事ができました。日程順に報告させて頂きます。

1日目 2019.02.15

町田バスセンターでミカの会の方々と合流。午前5時45分成田空港行リムジンバスに乗り込む。マレーシア航空でクワラルンプールを経由してカトマンズに到着。入国後出迎えのラマさんとタメルのホテル・バイシャリにチェックイン。ロビーの壁紙が仏画でとても印象的でした。

ホテル・ヴァイシャリ泊

2日目 2019.02.16

朝食後、世界遺産スワンプナートを見学。真っ青な空、たくさんの猿とパタパタとなびくタルチョが出迎えてくれました。出店で器に蝋燭が入っているものが売られていて気になりました。

カトマンズ旧王宮を見学後、ミカの会の会員と別れてゴビンダさんの案内で13時50分発ブッダエアに搭乗。ポカラに向かいます。飛行機に描かれていた平和を象徴する二羽の鳩が印象的でした。

残念なら飛行機からヒマラヤの山々は見る事ができませんでした。

ポカラでの夕食時にゴビンダさんの日本に住んでいる友人に偶然出会い、ホテルでコタツに入りながら、ネパールのお酒を酌み交わしました。

ホテル・モナリザ泊

3日目 2019.02.17

朝食後、専用車で国際山岳博物館を見学。館内には歴代のエベレスト登頂者の写真展示と当時の登山服等が展示されていました。

町の景色を見ながら、くねくねとした道路を走り、途中、いくつも飛び交うパラグライダーを眺めながら階段を登ります。その先は真っ青な空と天空に浮かぶようなヒマラヤの山々が見える圧巻の景色でした。ポカポカ陽気の中、下界を見下ろしながら、段々畑の菜の花を見ながらコーヒーを頂くのはとても素敵な時間でした。

ホテル到着後、2時間ほどハイキング。ヒマラヤの山並みを感じながら花の写真を撮り、田舎の民家を見学、家畜を見たりで心なほ時間を過ごしました。

山並みにゆっくり沈む夕日は格別でした。

ヒマラヤン・デウラリ・リゾート泊

4日目 2019.02.18

ポカラ市内観光。天空のランチ、フェア湖など。

ホテル・モナリザ泊

5日目 2019.02.19

朝食後、専用車でチトワン国立公園に向かう。

移動中、行き交うトラックが派手な事、シマルの赤い花、農家のお庭先のバナナなど日本と違う景色に感動。

ホテルでミカの会の会員と合流、昼食後、象に乗ってジャングルサファリ。サイ、鹿、クジャク、大きなトカゲなどを発見。鳥の鳴き声と心癒される時間を過ごしました。

チトワン・ジャングルワールドリゾート泊

6日目 2019.02.20

早朝カヌーでリパークルーズ。鳥のさえずりを聞きながら、ワニ、カラフルな鳥、鹿を発見。広大な自然を肌で感じました。沢山の象の親子が暮らしているセンターを見学。お昼前にカトマンズに向けて車で出発です。渋滞や埃が気になります。

サルビンダさんのホテルを見学。壁にはヒマラヤの写真がたくさん飾ってあり、屋上の見晴らしも良く、仲間と集える素敵な空間が用意されていました。

ホテル・ヴァイシャリ泊

7日目 2019.02.21

パドマ・カニア女子校訪問。学校関係者の出迎えを受け、校舎を案内して、教育事情を説明して頂きました。日本とは環境、教材に大きな違いがあります。

昼食はサンセットビュー・ホテルでおそば、その後世界遺産パタンへ。初めて五体投地を見ました。

タメルへ戻るとも子学校から見えた先生と夕食。

ホテル・ヴァイシャリ泊

8日目 2019.02.22

郊外のチベット仏教寺院・コパン修道院見学。その後ボダナートでミカの会員の別れてヒンズー教寺院パシュパティナートに。ヒンズー教の火葬の儀式を対岸よりしばらく見学。心のこもった振る舞いに悲しみの中にも深い愛を感じてきました。

機内泊

9日目 2019.02.23

クワラルンプール市内観光。

王宮・国家記念碑・国立モスク・ツインタワー見学。

解散後、ツインタワー見学に行く途中、雷雨と土砂降りの雨に遭遇、1時間半ほど東屋で夕方まで身動きできず。

国立モスクでヒジャブ（黒いスカーフの様な物）を被りました。市街には高層ビルが多く、活気が溢れている街でした。

ドーセット・クワラルンプール泊

10日目 2019.02.24

クワラルンプール9時40分発、成田17時30分着のフライトで無事帰国。



「第 21 次ネパール教育支援の旅」

中野 千恵子

2019.02.15

今年の教育支援の旅はマレーシア経由でネパールに入ります。停電の為なのか予定より少し遅れて 11 時に離陸しました。クアラルンプールでお茶を飲んでいたら 2 時間位はすぐに時間が経ってしまいました。飛行機は 4 時間半くらいでネパールのカトマンズ空港に夜 10 時半に到着。他国からも到着便があるので心配したのですがスムーズに外に出ることが出来て、無事にラマさんに会うことが出来ました。カトマンズの道は夜遅いので混んでいなかったのですがホテルに着いたのは日本時間で午前 3 時位でした。

2019.02.16

朝食後、スワヤンプナート見学です。霞んでいましたが上から見るカトマンズは良かったです。近くのブッタパークに行きました。金箔の観音菩薩、釈迦、普賢菩薩が祀られて並んでいました。午後はバイラワ行の飛行機です。バイラワ空港は国際空港に向けて建設が進んでいます。一番驚いたのはルンビニに向かう道でした。今までの道の倍以上広がっていて両側の木々は切られてどこを走っているのか判りません。木々は煉瓦工場で使うようです。

夏に舞うホタルはどこに行ったのでしょうか？
やっと、笠井ホテルに着き安心してほっとしました。夕飯前に翌日の懇親会に出席する校長先生達に渡す布袋、テニスボール、鉛筆を分けて内ち合わせをしました。

2019.02.17

朝、8 時半、ルンビニ公園に向かいます。ボートに乗り、入り口付近で靴を脱ぎ入り口に行ったら、警備にいた青年がマズワニ高校の卒業生との事でした。笠井ホテルの食堂にいた青年も卒業生でした。とてもびっくりし嬉しく思いますし、地元で働く姿を見るのは嬉しいです。

聖地公園をお参り後、マズワニ学校に行きました。MMR は新川先生の寄付で造られた校舎です。綺麗に使われています。電力が足りないのかパソコンが時々ストップしてしまいます。

次はマヤデビー校訪問です。心配していた幼児教室は開かれていました。教室内の後ろには使わない木々が置いてありました。他の教室には仏像が置いてありました。教室が足りないのでは是々と要望があり、検討することとなりました。

帰路、マヤデビー校のすぐ近くにイスラム教の学校があったのでジュース、お菓子をプレゼントしました。突然の訪問にビックリしたようでした。

その後、笠井ホテルでルンビニの校長・理事長達との懇親会です。11 校の先生達が集まってくれました。理事長の挨拶で女子生徒の就学率が上がり嬉しいことで生徒達の声大切にしていきたいと言われ私も嬉しく思いました。それぞれの学校の校長先生からも扉やトイレが欲しいとの要望を聞きました。

2019.02.18

笠井ホテルを 9 時半出発です。まず最初にアマリ校訪問です。畑の中を走って行く時、ガスで周りが霞んでいてカメラを向けてしまいました。途中の民家で子供と母親がたき火を囲んでいたのちょっと寄り道。双子の赤子を見ました。貴重な薪を私たちのためにくべて頂き感激です。

アマリ校は庭もないくらいの狭い学校です。今ある校舎の上に 2 階の校舎を造っていました。バイラワのビジネスマンの奥さんたちの寄付だそうです。ミカの会の校舎の上にも造って欲しい要望です。学校近くの民家を見ましたが質素な造りでした。

次はシリ・シリ・シリラム校を訪問です。広い敷地で国の援助で入り口付近に 2 階を建設中でした。

ホテルに戻り昼食後、ヤナトラハ校の訪問です。ミカの会で建てた校舎が雨漏りするそうです。したがって、今は使われていません。屋上に登りましたが見晴も良くとても気持ちが良い場所です。修復の予定額が増えてしまいそうです。

ホテルへの帰りにスディ校に寄りましたが扉がしまっていて雨漏り校舎を見ることが出来ませんでした。

2019.02.19

ルンビニ地区の学校訪問は終わったので、これからチトワン公園に向け出発です。途中、RAMAGRAMA STOPAに寄りました。シャカの母親マヤ夫人が休んでいた所です。その後、チトワン公園に行き、ホテルで佐藤夫妻と合流し、象に乗り河をわたり林の中を散策しました。サイ、鹿、綺麗な鳥を見ることが出来ました。夜はタル族のダンスを堪能しホテルに戻りました。

2019.02.20

朝、8 時にホテルを出て木製のボートに乗ります。川面を滑る様に進みます。静かであるで時間が止まった感覚です。河には鹿、サルなどが水を飲みに来ていて私達をじいっと見えています。勿論、寝ているワニ、動いているワニ等たくさん出てきています。その後、象の飼育場を見てホテルに戻り 10 時半にカトマンズに向け出発し約 5 時間のドライブで夕方着きました。

2019.02.21

今日は三つに別れての行動です。私達はパドマカニヤ女子校への訪問です。ソロプチミスト町田一さつきの方々からの教材を持って行きました。図書室には国からのパソコンが並べてありました。今、建設中なのは寮で 4 階建です。

1 部屋 2 名で 6 畳くらいです。1 か月は 7 0 0 0 ルピーで使用でき、シャワー室、トイレ、台所も見学しました。昼食はサンセットビュー H でお蕎麦を食べ、その後、パタン見学。ホテルに戻りとも子学校から新人の先生がバイクで 4 時間かけて来て下さいました。一緒に夕飯をしてテニスボール、布袋を寄贈しました。

2019.02.22

午前中、ラマさんのお兄さんのお寺見学です。山の上にある立派な綺麗な僧院でした。夕方、マレーシア行きの飛行機に乗り、クアラルンプールでゆっくりして日本に帰国です。お疲れ様でした。



「第 21 次教育支援の旅に想うこと」

松浦 陽子

今年の支援旅行も去年同様、経由先がマレー半島の先の方にあるクアラ Lumpur で（ちなみに去年はシンガポール）かなり遠回りになり、ネパールのカトマンドゥに着き、いつものバイシャリホテルにチェックイン出来たのは夜中を廻ってました。やはり今年も丸一日がかりでした。

若くないメンバーが多いので、往路はまだしも大分疲れが溜まる帰路を考えると、やはりもう少し近いルートが良いと云う思いを新たにしました。

翌 2/16 日の午後 2 時頃のブダエアーでパイラワ着、そしてルンビニに向かいました。ルンビニは青い小麦と黄色い菜の花のコントラストがきれいで、又、お釈迦様が修行されたであろう土地柄を想うからか、祇園精舎の様なお寺や木々が遠くに霞んで見える風景が、とても幻想的で素敵でした。

ただ残念なのは、数年後にパイラワに完成予定の空港の為に道路の拡張工事をしているため、街路樹として植えられていたマンゴーの木がほとんど伐採されてしまい、掘り起こされたマンゴーの大きな根っこが無残に転がっていて、聞けば、いずれはたきぎにされてしまうのだとか。

ルンビニを訪れるたび、私達が「町田街道」と名付けて慣れ親しんだ道路のマンゴーの大木が無くなってしまったのは、とても寂しいことです。

支援の旅 3 日目、シリ・マズワニ校に去年秋に完成した新川 MMR を訪問しました。

このマルチメディアルームはとてもきれいに使われていて、6,7,8 年生が毎日 40 分づつ授業を受けていると聞きました。

しかし PC の講師料が新川基金から準備した 3 カ月分だけしか支払われておらず、話の様子だと、これから先も学校側から支払われる可能性は低いらしい。マズワニの先生方が積極的に使い方を覚えて生徒に教えてくれるのが理想だが、どうやらその期待には答えてもらえそうにはない模様。課題が又一つ・・・。

幼児教室の使われ方が気になるマヤデビ校にも寄りました。そして午後からは笠井ホテルに支援校の内 11 校の校長先生方をお呼びして、それぞれの学校の要望や問題点などを話して頂きました。

その中で特に印象に残ったのはアマリ小学校の女性の先生のお話でした。「遠い地区の学校で 5 年生までしかなく、中学に行くには遠すぎて女の子は結婚するしかないという現状。

何とか 8 年生までの校舎が欲しい。」と云う切実な訴えに、とても胸打たれるものがありました。今回の支援の旅では、昨年 S 氏から頂戴した寄付金の有効活用の為の調査が懸案事項。

アマリ校をその候補校にと終了後、皆で話しました。又、午前中訪問してきたマヤデビ校も幼児教室よりも今は 2 教室の不足を解消して上げるのが先と判断。2 つ目の S 氏基金候補校に選びました。

次の日は、昨日候補校にとの思いを強めたアマリ校を視察、その後に傷みの目立つ修復募金候補校ヤナトラハで修繕箇所の確認、そしてシリ・シリ・ラム校では敷地や電源の確認などをしました。

支援の旅 5 日目は、ルンビニでの支援活動と調査を終え、久々のチトワン国立公園に一泊して、ジャングルで野生生物を観察し、ゆったりとした自然の風景に癒されました。2/20 日の夕方、チトワンで合流した佐藤さんご夫妻も一緒に、小型バスで 5 日ぶりにカトマンドゥに戻って来ました。



チトワンからの道路は整備されて綺麗でしたが、カトマンドゥの入り口辺りからどんどん道が悪くなり、ラムさんが「首都なのにどうして田舎の方より悪路なのかと、いつも疑問に思う」と憤慨してました。

そして今、カトマンドゥは地震からの復興もあり、建設ラッシュで水不足が深刻になり、バイシャリホテルの水も茶色く濁り、浴槽は使わず、シャワーだけに。ラムさんも家では家族で週に 2 回しかお風呂に入らないそうです。水も半分位は買ってくるのだと話していました。ネパール政府はこの深刻な水不足を解消するべく、すみやかに取り組んで欲しいですね。

笠井ホテルで働くマズワニ高校卒業生とルンビニでお世話になるラムネンさんです。



ネパールの誇る文化遺産の数々です。



2018.12.15 (土) 平成 30 年度移動例会

恒例の移動例会。小田急百貨店 9F 匂花にて、移動例会・懇親会を開催いたしました。多くのネパールの仲間が出席してくれて有意義に、楽しい時間を過ごしました。新川会員のお陰で開校したマズワニ MMR の開校式の報告をいたしました。宴席ではビンゴで盛り上がりました。



2019.03.16 (土) 平成 30 年度 3 月例会 PM1:30 こもれび堂

昨年 11 月に来日されたダライ・ラマ法王 14 世の法話の様子を七川会員にお話いただきました。

1 日目ダライ・ラマ法王による『般若心経』、『縁起讚』などについての法話会が始る。会場には、日本のみならず韓国、台湾、モンゴルなど法王の訪問が難しい国々からも多くの人が集まった。法話会 2 日目、観世音世間自在の灌頂を授与されるため、法王は開場前から準備の儀式を行われた。来日法話の最終日、3 人の科学者を迎え「仏教科学と現代科学」をテーマに対談された。難解な法話であり、簡単には理解できそうもない、みんなで勉強しましょう。



仏教の「花まつり」とは、毎年 4 月 8 日にお釈迦さまのご誕生をお祝いする行事です。今から約 2500 年前の 4 月 8 日、ネパール国 ルンビニの花園で、お釈迦さまは誕生されました。お釈迦さまは、生まれるとすぐに東西南北それぞれに 7 歩ずつ歩まれ、右手は天を、左手は地を指して、「天にも地にもただ独り私として尊いのである(天上天下唯我独尊)」と宣言されました。この時、お釈迦さまの誕生を祝い、周囲の花々は咲き乱れ、空からは産湯代わりの甘露の雨が降り注ぎ、世界中が輝き喜びで溢れたと伝えられています。この事から寺院や地域で行われる法要やイベントでは、たくさんのお寺やお堂を飾りつけ、お釈迦さまの像に甘露の雨を表現した「甘茶(あまちゃ)」をかけるようになりました。

花まつりと誕生仏展

2019.04.06 (土) 午前 11 時より 築田寺 竜王ヶ池にて

晴天・満開の桜の花に迎えられ花まつりをお祝いし、数多くの貴重な誕生仏を拝見しました。ネパールモモの昼食、けんちん汁そしてお茶席を楽しませて頂きました。英気を養い新しい元号「令和」をお迎えしましょう。



「下記の2団体から助成金を受けることが決定しました。」

2019年度の活動資金として次の団体から助成金を頂きます。

貴重な資金ですので、しっかり活動して成果を上げましょう！

(1) 相模原市 市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」様

活動計画；【参加無料】

ネパールの人々と相模原の市民が、ネパール料理“モモ”を作って食べながら楽しく交流します。

★第1回目

日 時；2019年7月13(土) 移動例会と同時開催

会 場；ソレイユさがみ (JR 橋本駅 シティ・プラザ はしもと6階)

★第2回目

日 時；2019年12月21日(土) 移動例会と同時開催

会 場；ユニコムプラザさがみはら (小田急線相模大野駅 bono 相模大野サウスモール3階)

(2) ひろしま・祈りの石国際教育交流財団 様

活動計画；ルンビニ地区 シリ・シリ・ラム小中高校の教室を整備して、パソコンルームを1教室作ります。

パソコンの操作方法を習得し、専門科目などの学習のツールとして使います。



今回は支援の旅の帰路にマレーシア・クアラルンプール観光を楽しみました。ヒマラヤの国から酷暑の国へ。旅の疲れと深夜便で機内食も食べずに爆睡してしまいました。

スタバで朝食、王宮・国家記念碑・国立モスクを見学しました。しかし、マレーシアを代表する建造物は何と言っても、高さ452mのペトロナスツインタワーですね。日本と韓国がそれぞれを受注しました。

国民の構成はマレー系、華人系、インド系などの民族構成が極めて複雑な国の一つである。

イスラム教が国教であり、マレー系を中心に広く信仰されている。中国系は仏教、インド系はヒンドゥー教徒が多い。また、イギリス植民地時代の影響でキリスト教徒もいる。

原油や天然ガス、ゴムなどの資源に恵まれ、国民総所得は東南アジアの諸国の中では優等生である。

ベナン島などのほかに、近年ではボルネオ島やランカウイ島のリゾート開発などが行われて観光産業の振興にも貢献している。

【編集後記】

2019年4月から新しい在留資格である「特定技能」が新設されました。これまでは一部の例外を除いて外国人が働くことのできなかった、建設業界や造船業界、宿泊業界、外食産業などで、外国人が働くことができます。

【特定技能が取得可能な国】全9か国

ベトナム・フィリピン・中国・インドネシア・タイ・ミャンマー・ネパール・モンゴル・カンボジア。

特定技能で受け入れる予定の外国人は、政府の試算では5年間で約34万人としています。業種でいうと「介護」「外食業」「建設業」が多い。今、ネパールでは申し込みが殺到していると聞きますし、日本語熱も盛り上がっているようです。

留学生の様々な問題と共に、長期に安定したシステムに熟成され両国の発展に貢献できると嬉しいですね。S.K